

優劣不問は勝利至上主義の裏返しでしかない。勝っても負けても子供は十分楽しんでるよ。



教育

優劣決めるのはかわいそうだ!? 小学校の運動会に一言もの申す

最近小学校の運動会は優劣がつかないそうだ。リレーは代表制でなく全員参加、競争はハンディがつき、玉入れも綱引きも最後には引き分けに終わる筋書がある。運動能力が発展途上の子供を傷つけないためだそうだ。だが教室には厳然と成績表があり、中学に上がれば高校入試がある。大学入試に就職、とことん成績至上主義、全て競争だ。運動会の結果だけ配慮しても無意味。子供の頃に勝ち負けの学習機会を作り、互いに認めあうことの方が豊かな精神の育成にはよいことだと思うが…。(杉)

情報誌の氾濫もあるが、こんなもののために死んでしまったんじゃ子供は浮かばれない。



バカ親

親御さんわかるでしょう パチンコより大事なもの

毎年この季節になると増える事故がある。親がパチンコに興じる間に子供が閉じ込められた車で脱水症状を起こす、車から出て轢かれるなどの事故。なんでも「お手軽」や「お気軽」がもてはやされているが、早い話パチンコはギャンブル。親がパチンコに興じる間に子供が事故死というのは、要するに親がバクチにうち狂って子供を殺したということだ。パチンコがしたきゃ子供は誰かに預けなさい。でなければパチンコなんぞやめなさい。子供の成長以上に楽しいことが世の中にあるかね。(杉)

DELICIOUS DOPIE NOW



ビジネスチャンスのねたくり帳

(杉) / 杉谷 肖 (藤) / 藤枝 雅一 (本誌) (井) / 井口啓子

はい、この方は誰でしょう。わかんないでしょ。こういう人は元々国なんか背負ってません。源洋子選手は射撃を純粋に楽しんでるんです。



ミーイズム

国を背負わない選手を喝采する でも国を背負わせてきたのは誰

テニスの伊達公子、野球の野茂英雄、鈴木誠ら世界を舞台に活躍するスポーツ選手は皆、「国を代表する重圧」がさらさらしないという。それが気持ちいいと喝采を送る。だがそんな選手は昔からいた。射撃や馬術など地味な競技の選手だ。注目も国民の期待もないため、国など背負いようがない。これまで国を背負って戦ってきたのは「〇〇ニッ

ボン」「お家芸」などと脚光を浴びる競技だけ。背負させたのは我々だ。国民が期待しているよといわれれば、素人は「頑張ります」と答えざるを得まい。つまり五輪へのプロの参加で「私のために頑張ります」と言える土壤ができたということ。選手が変わったのではないのだ。(杉)

普天間は返還されるが、結局代替地は沖縄の中。何でもチヨロまかすのだ、この首相様は。



訴訟

沖縄職務執行命令訴訟 訴えているのはどっち

首相が米軍用地の強制使用に必要な土地・物件調書への代理署名を知事に命ずるよう求めた裁判で、大田昌秀沖縄県知事は国の主張を認めた高裁判決を不服として上告した。しかしこの裁判、原告は首相で被告は知事なのだが、実は知事の安保が国益なら米軍基地は全国にあるべきとの主張はもっともで、安保の非合理性、沖縄の被る不条理を、沖縄が国を相手に訴える悲しい裁判なのだ。判決はいかに。(杉)

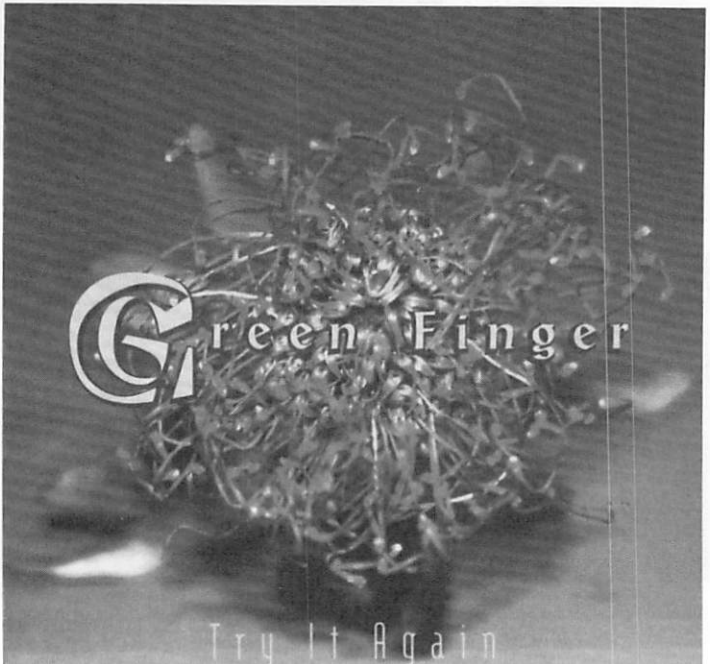
自宅で健康的に……



肥満ぐせを治して 7日で5キロやせる!

5キロ肥満でもそれなりに食べているのです。この減量法は過食ぐせや食べ物の好みや器具、運動は不要。指定された献立、特別な献立や飲食品、カロリー計算など食事療法の我慢や面倒を一切省いた方法で減量後、二度と太りません。非常に簡単ですが大学病院でも採用されていることから効果は確か。健康的で無理がなく、体質に関係なく、7日で3〜4キロの減量が普通。まったく通う必要はなく、20キロ減量も全部で2万円かかりません。下腹部、下半身のサイズダウンが大きく、「51キロの体重が7日で3キロ、ウエストが5センチ、太ももが3センチ細くなりました。」など毎日、お礼の電話が入ります。減量とプロ用シェイプアップで26年の実績。意志が弱いからとあきらめている方は簡単にできますので無料説明書をもらってみたら? 1人でこっそりと、親娘一緒でも、忙しい人にも最適です。

〈資料請求〉
03-6075-9033
(903)3749
一般受付 9:00〜15:00
火・祝休
アミービューティ研究所
〒612 京都市伏見区
鍋島町18の2 A



CD この秋、心地よいグルーヴを感じさせるオススメの2枚

現在のクラブシーンから発せられる音は、今やクラブやマニアックリスナーのみならず、全音楽ファンの注目を集めるイキオイ。中でも心地よいグルーヴを感じさせるのがこの2枚。あのソウル・ボッサ・トリオの新作『ソウル・ボッサ・トリオ・アット・ワイルド

ジャンボ』（徳間ジャパン/¥2800）はMIYUKIのワイルドなヴォーカルを全面フィーチャー。良くも悪くも「趣味がいい音楽」だった彼らの、ポップで熱い一面が感じられる。アンダーグラウンドから良質な音楽を発信しようとスタートした「スタイリングレコーズ」からはグリーン・フィンガーの作品を。アルバム『トライ・イット・アゲイン』（¥2000）では、スライヤジミヘンなどロックの金字塔ナンバーをガレージャやジャングルでグチャグチャに料理。どちらも並ならぬセンスを伺わせる、最先端ホット&クールな音だ。(井)



観光 自費で店の屋根に投光機 八坂塔がライトアップ!

今年始めに、東山の八坂塔の前の電柱撤去と石畳舗装工事が完成。「せっかく綺麗に塔が見えるようになったのなら」と地元中華料理店が、ナント自前で70万もする投光機を店に設置し、夕方から夜9時まで塔をライトアップ、しかも月々の電気代まで支払っているという。当然地元の人や住職にも好評で、観光社寺顔まけの人気を集めている。街の活気は行政にたよらず、自分たちの努力で行った、という話。(藤)



書籍 深まる世代間ギャップはこの一冊で埋めましょう

ピラミッドのくさび文字にも書かれていたという一文は、「最近の若いヤツは…。歴史ある京都なら、なおさらのことでしょう。そんな世代間ギャップを埋める本が『京のあたりまえ』（岩上力著、光琳社出版、¥1500）。京のしきたり、儀式作法から、暮らしまで全6章にわたり「あたりまえ」が語られる。3、40代の人には「そういえばおばあちゃんがかそんな事言ってたなあ」と頷き、僕ら20代の人には「全然知らなかった」と唸る一冊。(藤)